

開教

Kaikyo

HONEN BUDDHISM

JAPAN, HAWAII, NORTH AMERICA, SOUTH AMERICA, BRISBANE, PARIS

Volume
42
HONEN BUDDHISM
2024

浄土宗開教振興協会
会報「開教」



南 米
開教区

開教70周年に向けて
南米開教区クリチバ日伯寺本堂建立事業
中間報告・勧募報告

ハワイ
開教区

開教125周年から
130周年へ

北 米
開教区

移転事業中の
宗教活動について



オーストラリア
開教地

「活動は架け橋になる」

フランス
開教地

浄土宗ヨーロッパ
仏教センターの活動

協会事業

第14回開教公開カンファレンス
Honen World Meeting



浄土宗
Jodo Shu
Buddhist Denomination

2 ご挨拶

浄土宗開教振興協会会長
浄土宗宗務総長 川中 光教

海外開教

3

南米開教区

開教70周年に向けて

南米開教区開教総監 佐々木 良法

南米開教区クリチバ日伯寺本堂建立事業 中間報告・勧募報告

5

ハワイ開教区

開教125周年から130周年へ

ハワイ開教区開教総監 石川 広宣

7

北米開教区

移転事業中の宗教活動について

北米開教区開教総監 後根 定璽

8

オーストラリア開教地

「活動は架け橋になる」

オーストラリア開教地主事 ウィルソン 哲雄

9

フランス開教地

浄土宗ヨーロッパ仏教センターの活動

フランス開教地主事 高僧 光隆

国内開教

10

国内開教通信

活動報告

宮城県仙台市 十念寺
住職 伊東 秀真

11

各開教区・開教地開教使名簿

12

第14回開教公開カンファレンス

Honen World Meeting

13

浄土宗開教振興協会

令和5年度 会員名簿

18

浄土宗開教振興協会 役員名簿

浄土宗開教振興協会 事業報告

19

浄土宗開教振興協会

令和5年度 決算書

21

令和5年度 教区別正会員比率

22

会員の声

海外開教区と紡がせていただいたご縁

蓮光寺 中村 悟真

編集後記



ご挨拶



浄土宗開教振興協会会長
浄土宗宗務総長

川中光教

しばらく叶わなかった浄土宗公式の海外外向事業でありましたが、浄土宗開宗850年正当であった昨年（令和6年）秋には、訪中団の再開、またハワイ開教130年記念法要への参加とコロナ禍以前にはほぼ回復し、特にハワイでの記念帰敬式には約90名もの受者にご参加をいただくことができました。また、ラハイナ浄土院にも訪問させていただくことが叶い、大火災による被害をこの目で確認させていただきました。未だ火災当日の爪痕を残す境内や街並みに衝撃を受け、被災地域の復興が一日も早く進むことを願うばかりであります。被災に際し全国より義援金のご支援を賜りました

ことに改めて御礼申し上げます。

さて、今年は南米開教区において、檀信徒の皆様が心待ちにして下さっており、ますますクリチバ日伯寺がついに建立されるという慶事が予定されております。南米の地における法然浄土教流通の一大拠点となっていただけのものとご期待申し上げます。念仏の声するところ、たとえ地球の裏側であっても法然上人の遺蹟でありますので、念仏のみ教えを真つ直ぐに新たな人々に届けていただきますようお願い申し上げます。

開宗850年からの1年目。各開教区・開教地での開教使諸大徳のご活躍を祈念申し上げます。

開教70周年に向けて

南米開教区開教総監 佐々木 良法

当南米開教区の初代開教総監長谷川良信上人は「佛教（念佛）、教育、福祉三位一体の開教」を南米開教の理念としました。この理念を継承した第2代総監佐々木陽明上人を始めとする歴代開教使と護法の信念厚い檀信徒が結束して「南米の大地にお念佛を！」を合言葉に70余年、さらに積極的に開教事業を展開しております。

850 年法要・得度①



いよいよ令和7年は、コロナ禍により延期していた開教70周年記念行事として、大本山清浄華院御法主飯田実雄台下ご親修のもと、日本からの参拝団をお迎えして、6月6日にサンパウロ別院にて開教70周年記念式典、そして6月8日にはクリチバ日伯

寺落慶法要を厳修いたします。さて、この70周年の主要記念事業である「クリチバ日伯寺本堂建立」の進捗状況として、まず昨年9月、上棟式を行いました。式にはクリチバの領事館より副領事を始め、市議会議員、日本人会会長を来賓に迎え、檀信徒、関係者も駆けつけ約100名の参列者を迎えて盛大に行われました。第3期工事の本堂建設に着工、現在、建物の構造、屋根工事も終わり、落慶に向けて大詰めの内装、外装工事に入っております。



建設現況

勧募に際し、移動、宿泊の手配、訪問先との連絡など、元南米開教使のみなさまには全面的にご協力いただき、また各教区においてご案内いただいたご寺院様はじめ多くの方々にお世話になりました。心より厚く御礼申し上げます。

ブラジルにおいては、現在もクリチバ総代をはじめ、各寺の開教使・総代が檀信徒のみならず



勧募抽選クジ 景品の車受渡し

ず広く地域社会にまで寄付のお願いを呼びかけ、文字通り開教区の総力をもって勧募を継続しております。その一環として、一昨年12月より、檀信徒よりご寄付頂いた自動車を景品とする抽選券の販売を行いました。これは日本にない習慣ですが、ブラジルでは教会を建設する時など、より早く寄付を集めるとともに、広く建設事業を宣伝する目的で一般的に行われております。昨年の5月末まで券を販売し、6月初めに抽選が行われました。この事業により日本円にて約一

南米開教区クリチバ日伯寺 本堂建立勸募事業の ご報告

日ごろより当協会の事業にご理解を賜り誠にありがとうございます。標記事業は令和4年(2022)4月より開始、令和6年(2024)3月末までの勸募期間終了まで、当協会会員はじめ宗内諸大徳より当初の目標を大いに上回るご支援を頂戴いたしました。本勸募金の寄付について以下のとおりご報告いたします。

【勸募金合計額】

100,020,825円

(令和5年度末)

寄付件数 553件

ご寄付いただきました勸募金につきましては、令和5年度末締めにて、南米開教区へ送金いたしましたこと、併せてご報告申しあげます。勸募期間は終了いたしました。クリチバ日伯寺本堂建立事業への寄付につきましては、南米開教区への指定寄付金として引き続き受け付けいたしております。

なお、クリチバ日伯寺の本堂落慶式は令和7年6月8日(日)に予定されております。浄土宗開教振興協会ではこの落慶式に「南米開教区開教70周年記念訪伯団」による参詣を行います。

令和4年1月から始めました勸募活動ですが、ご協力をいただきました全国の御寺院様、関係諸団体に心より感謝申し上げます。

合掌

浄土宗開教振興協会



850年法要・得度②

まった素晴らしい事業となりました。現在、屋根工事に際し瓦

千万円の収入となりましたが、収入以外にも、ブラジル全土にわたって本堂建立事業及びクリチバ日伯寺の活動を知っていたいただき、多くの人とご縁を結ぶという点でも大変大きな成果がありました。本堂建立に対する気運もより高まり、檀信徒の方々との団結力もより強

開宗850年を迎えた昨年、当開教区においても8月24日にサンパウロ別院にて全4ヶ寺合同、参列者90名にて慶讃法要を厳修しました。法要後に得度式が行われ、マリンガ日伯寺1名、クリチバ日伯寺3名の信徒が僧侶の道を歩み始めました。この佳き節目に、南米

志納も行っております。今後ともブラジル国内での寄付勸募に力を入れて参ります。



上棟式①

の地で確かに浄土宗の教えが根付いてきていると開教使一同喜んでおります。

文末ではありませんが、当南米開教区では、開教使を募集しております。「念佛の声する処我が遺跡なり」南米の大地で元祖法然上人のご遺跡づくりを私達と一緒にしてみたいという方、自薦他薦を問わずお待ちしております。

今後とも開教区一同、より一層



上棟式②



上棟式③

団結して、南米開教の発展、念佛弘通の為に精進して参りたいと思っております。

開教125周年から130周年へ

ハワイ開教区開教総監 石川 広宣



ラハイナ浄土院大佛殿にて

2019年6月のハワイ開教125周年記念法要から5年が経過しました。この間、コロナウィルスにより世界中が未曾有の混乱に直面しました。生活は一変し多くの制約が生じ、島間の移動にも厳しい規制が課されました。ハワイの寺院活動に欠かせない盆ダンスも開催ができず、結婚式や葬儀も行うことが難しくなりました。医療崩壊の危機は深刻で、持病を持つ方々にとってコロナは大きな脅威となり、多くの犠牲者を生みました。その一方、社会に新たな変化も生じました。テレワーク普及により物理的距離を超えた働き方が可能となり、社会のデジタル化の加速と共に人々の価値観は変化し、本当に大切なことに意識を向ける機会が増え、コミュニケーションのつながりが再認識されるようになりました。

ようやくコロナ禍を乗り越え盆ダンスを再開、以前にも増して多くの人々が集うようになってきた矢先の2023年8月、マウイ島ラハイナで大火災が発生しました。火災により102名の尊い命が奪われ歴史的な街並が焼失、ラハイナ浄土院を含む仏教寺院3ヶ寺が全焼し、ハワイ仏教界に大きな衝撃をもたらしました。折しも2024年は浄土宗開教850年とハワイ開教130周年の勝縁にあたり、ポストコロナの寺院活動再興とラハイナ浄土院復興支援、さらにハワイ寺院を長年支えてきた日系2世の方々の高齢化という課題を前にどのような記念法会が可能か、開教使会議で検討を重ねました。そこで、功労者への感謝と共に未来の寺院護持を担う若い世代の参加を奨励する機会とすべく帰敬式を併



修する運びとなり、川中光教宗務総長のご出座をお願いしました。



ラハイナ浄土院被災状況

浄土宗開宗850年慶讃・ 浄土宗ハワイ開教130周年記念法要

10月20日(日)、ハワイ浄土宗別院にて「帰敬式」並びに「開宗850年慶讃・開教130周年記念法要」が厳修されました。川中総長御導師のもと、協導師に小林正道上人(大本山増上寺執事長)・宮林雄彦上人(浄土宗宗議会議長)・茂木恵順上人



記念法要

(浄土宗宗務役員)・杉山俊明上人(浄土宗開教振興協合理事長)をお迎えし、渡辺剛志上人・佐々木元洋上人はじめハワイと深いつながりを持つ多くの方々のご随喜をいただきました。帰敬式にはハワイ開教区より93名の檀信徒が参加。日英両語での三帰文復唱、川中総長より受者代表への剃度灌頂作法に続き、笙の音色が響くなか受者全員が剃度灌頂を受け「同称十念」で帰敬式が締めくくられました。慶讃法要では日本・ハワイ各島より総勢130名



帰敬式

が参加、法然上人への報恩と先亡開教使・檀信徒への追悼を胸に共にお念仏を称えました。祝辞の後、62年以上奉仕された原源照開教使夫妻への特別功労感謝状の授与、80歳以上の信徒への敬老功労賞の授与を行い、長年の労に感謝を捧げました。記念午餐会では、雅楽・琴・詩吟・ウクレレ・ギター・フラダンスの披露があり、参加者全員が手に手を取りあつて「ハワイ・アロハ」を合唱し、和やかな雰囲気での閉会となりました。

翌21日(月)には、日本からの参詣各位16名と共にマウイ島へ移動しラハイナ浄土院を慰問、被災を免れた大佛前で勤行・焼香し、物故者の冥福と被災地域・寺院の復興を念じました。併せてワイルク浄土院・カフルイ浄土院を参拝の後、同じく被災した他宗寺院(ラハイナ本願寺・ラハイナ真言宗法光寺)を慰問しました。

川中光教宗務総長をはじめ関係者の皆様には、ご多忙のなか来布賜りましたこと有難く存じます。また、浄土宗開教振興協会の皆様、そしてハワイと深いつながりを持つ方々のご尽力により、記念法会を無事円成することができました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。当日堂内に響いた「南無阿弥陀仏」の声は大変有難く、おかげさまで帰敬式と併せハワイ開教の過去と将来を結ぶ法会とさせていただきます。記念に授かった川中総長ご揮毫のお名号と共に、この経験を次世代への念仏教化に生かしていきたいと存じます。



川中総長寄贈の名号の披露

北米開教区

North America

移転事業中の宗教活動について

北米開教区開教総監 後根 定璽

浄土宗北米開教本院は前号でご報告の通り、ロサンゼルス・ダウンタウン地域の治安悪化から檀信徒・開教使の安全を守るため2023年4月にリトルトーキョーの寺院を

閉院、現在は安全でより多くの日系市民が居住する南方トールランス地域に仮事務所を設け、

堂宇移転の準備作業を行っています。約90年の北米開教の歴史において、

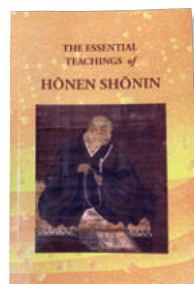
治安の悪化から3度の移転を必要とするとは、安全な日本社会では到底考えられないことです。しかし、こうした状況下においても檀信徒の皆様がお寺を離れることなく、静かに推移を見守り参詣される姿に接すると、開教使先達諸師のご努力と

その教導を守って来られた檀信徒の皆さまに深く敬意を払う次第です。

現在は本尊様を安置する堂宇がありませんので、御忌・彼岸・盆・十夜などの定例法要は、トールランス市の文化センターを利用して勤めています。ただ関東平野一円に匹敵する広さを有するロサンゼルス郡ですので、

皆さんが一堂に会することは不可能です。年回法要等は各家庭にて供養をしますが、車での移動に多大な時間が割かれる問題もあります。今日、電話や通信技術の発達により便利な世の中となりましたが、複合文化社会アメリカの布教では、まず僧侶と信徒が向き合い相互信頼関係をもとに「法」を学んで行くことが基本です。

こうした状況下、北米本院では2年前に開教振興協会のサポートを受け、浄土宗開宗850年を記念し、法然上人の念仏教化のお言葉を収録した知恩院



御法語英訳本

版『元祖大師御法語』の英訳本“The Essential Teachings of Honen Shonin”を出版致しました。ご承知の通り、この法語集は法然上人のお念仏のみ教えが余す所なく書き記されています。

ここで興味深いことは、この法語集が出版されて以来、ヨーロッパ仏教研究をもとに仏教を学ぼうとされる主に白人の方々が興味を示され、購読希望を伝えてくることです。アメリカ



春彼岸

社会には数多くの英文仏教解説書が存在していますが、850年前に法然上人御自身が語られた念仏の教えに直接触れることができるという事実に着かれるようです。日系檀信徒の方々に、この法語集の内容を語ると「なるほど、なるほど」と静かに頷かれて内容に聞き入り、手を合わせてお念仏を称えられます。

さて現在、ロサンゼルスに新しい風が吹いています。大リーグでは、大谷選手を始めとする日本選手の活躍と彼等のマナーの良さが米国民から高い評価を得て日本文化・社会への関心が顕著となっています。いまアメリカは、各分野において変革の時を迎えたようです。



御忌 家内家族安全祈願

オーストラリア開教地

Australia

「活動は架け橋となる」

オーストラリア開教地主事 ウイルソン 哲雄

一年を通し、阿弥陀寺での様々な活動を通じて多くの人と触れ合えた令和5年。その活動は、3月の秋のお彼岸会から始まります。東日本大震災物故者慰霊祭と同時に、今年は熊本や能登半島で災害に遭われた方々への祈りも込めて行いました。

ブリスベン日本領事館からも、胡摩湊総領事が参列されました。8月に入り、カウラでの日本人捕虜集団脱走事件の慰霊祭がありました。第二次世界大戦中、1000人を超える日本人捕虜がカウラに収容されていました。1944年8月4日の夜中、脱走を試みましたが無駄に終わり、わずかに数時間の間に

一度は敵でしたが、二つの国は今では手を取り合い、協力しあっています。

また時は同じく8月、木曜島の日本人墓地でもお盆の法要が行われました。こちらには、およそ700基の日本人のお墓があります。日本人が木曜島に住み始めた1890年当初は、殆どが真珠貝の潜水夫でした。その頃はとても危険な仕事で、多くが命を失いました。こんにちでも、多くの子孫が木曜島やトレス諸島に住んでいます。

そして、お盆会は日本の伝統を知り、伝える良い機会となっています。ブリスベンからは胡摩湊総領事、ケアンズからも武藤年和領事が訪問され、この行事と末裔の大切さを認識し、毎年参加されます。また、11月末には初めてこの地で七五



Honen World Meeting 850

三がお祝いされました。年齢の異なる多くの子どもたちが参加し、楽しみました。

阿弥陀寺にとって、日本の伝統を引き継ぎ残していくこともとても重要です。ここに住居を構える日本人は、たとえオーストラリアに住むと決めたとしても、日本のルーツを維持したいのです。そして阿弥陀寺でのお盆会のような行事に子どもたちを連れてくることで、日本の文化や仏教を経験できるのです。

また、日本人である心と奥深く感じる活動の一つに、写経があります。写経会は、年間を通して毎月20日に開催しています。写経に参加した方からは、墨の香りが心を落ち着かせ、心身がリラックスできるとよく聞きます。自分と向き合う時間を持つ

ことで、毎日の日々を更に楽しめます。また、漢字を書く機会にもなります。

10月には、私と阿弥陀寺の檀信徒2名が、浄土宗開教850年慶讃法要へ参加しました。京都で2日間かけて行われたものです。初日は知恩院でのお待ち受け法要、翌日は国際カンファレンスへ参加しました。世界各国からこの特別な日に浄土宗の僧侶のみならず檀信徒が集い、開宗をよろこび、上人への報恩の思いを分かち合いました。

こうして1年を振り返ると、阿弥陀寺から発せられる活動は、人を繋ぐために架けられた橋のようです。同じ関心を持つ人を繋ぎ、個々を充実させる、そして自らが幸せを感じ、周りにも与えることができるのです。南無阿弥陀仏



カウラでの法要

射殺されました。また、オーストラリア兵4人も同じく殺されました。毎年この慰霊祭は、オーストラリア、日本の両方の慰霊墓地で厳粛に行われます。この慰霊祭の重要な目的はオーストラリアと日本の調和です。



阿弥陀寺でのお盆会



木曜島のお盆法要

浄土宗ヨーロッパ仏教センターの活動

フランス開教地主事 高僧 光隆

浄土宗ヨーロッパ仏教センターは2007年にフランス文化協会として発足、翌年より活動を開始しました。欧州における布教は故成田有恒台下の宗務総長時代のご提案に端を発し、故真野龍海台下の記念講話をはじめ故佐々木陽明南米総監のご教導、開教振興協会並び各御寺院のご支援、そして当協会メンバーのお力添えのおかげで今日の活動を行っています。現在では、当協会のフランク光然開教使補がドイツで浄土宗の協会を設立し活動しています。

仏教の集い

当協会はパリから約100km離れているため、主な行事はパリ市中心部の治安・交通の便の良いホテルの会議室を借り、新年互例会・涅槃会・春彼岸会・灌仏会・盂蘭盆会・十夜会等を「仏教の集い」と銘打ち開催しています。騒音への苦情が懸念されましたが、幸いホテルの理解を得て皆で木魚念仏を勤めています。その他として、特に昨年10月は世界仏教徒連盟のご案内により、パリのユネスコ本部での世界平和会議に出席しました。また、年間の法務に加え仏教と法然上人の勉強会や親睦BBQ、12月に報恩感謝法要を勤めています。が、昨年は偶然ノートルダム大聖堂修復完了記念式典と同日でした。各国首脳出席による厳しい交通規制のため法要が2時間も遅れたにもかかわらず、メンバーの方々はお待ち下

さいました。すべての集いにおいて、勤行式に則り共に読経・念仏を行じる体験をいつも有り難く感じます。今後は、こうした「仏教の集い」をパリだけでなくフランス地方都市にも持ちたく思っています。

ドイツでの活動報告

ドイツでは2024年5月に「浄土仏教協会」(Jodo-Buddhist Community)を社団法人として設立、現在ドイツ・オランダ・スイス・イギリス・イタリアから約10名の会員が参加しています。会員の居住地が離れているため、ビデオ会議にて正月・彼岸・花祭り・盂蘭盆等の他、毎週月曜の夜「Monday Night Nenbutsu」という30分間の別時念仏を勤めています。また毎月1・2回「選択本願念仏集読書会」を開き、参加者と内容について懇談しています。さらに、仏教や浄



灌仏会



ドイツでの念仏道場

ユネスコ WFB 平和会議

活動報告

宮城県仙台市 十念寺

住職 伊東 秀眞

地域に根ざした

布教の実践

私は、十念寺の住職として国内開教使として地域に開かれたお寺づくりを目指し、日々の法務に取り組んでいます。お念仏の教えを広め、多くの方々にとって「安心して頼れるお寺」となることを願い、寺離れが進む現在ですが活動を続けています。

お寺の役割と活動

法要や供養といった法務に加え、地域の方々が気軽に訪れ、お念仏に親しめる場を提供しています。その一環として、「ひとやすみカフェ」や「お念仏の会」を開山以来続けてきました。「ひとやすみカフェ」は介護をされている方が気持ちを分か

ち合い、心を休める場です。毎回参加される方も多く、地域に求められている活動であると実感しています。また、毎月25日

の「お念仏の会」も、お念仏を称え、心を静める大切な場です。私自身も皆さまとともにお念仏を称えることで、僧侶としての初心に立ち返っています。

情報発信の取り組み

お寺の活動を広く知っていただくため、情報発信にも力を入れています。毎月発行する『寺報』では法話や行事のお知らせを掲載し、郵送とホームページで発信しています。また、「住職日記」を月2回更新し、日常の気づきや仏教の教えを交えながら、読者と心を通わせる場としています。こうした発信を通じて、お寺をより身近に感じていただきたいと思います。

新たな取り組み

― お寺での葬儀

令和6年より、長年の目標であった「お寺での葬儀」を開始しました。これは、お寺の本来の役割を見直し、地域の方々ととってさらに身近な場となるための取り組みです。本堂という厳粛な空間で大切な方をお見送りすることで、遺族の方が穏やかに故人と向き合える時間を持てます。この取り組みを通じて、お寺が「人生の節目に寄り添う場」であることを実感していただければと思います。

継続は力なり

― 目指すお寺の姿

「継続は力なり」という言葉を胸に、ひとつひとつの活動を積み重ねることが、お寺を地域に根付かせると信じています。



念仏会



盆施餓鬼会

開山以来続けてきた「ひとやすみカフェ」や「お念仏の会」は、地域の方々に支えられながら、お寺の大切な役割の一つとして定着しています。これからも活動を継続し、「いざという時に頼れるお寺」として信頼を築いていきたいと考えています。これからも僧侶として、お念仏の教えを広め、地域に寄り添うお寺であり続けたいと努めてまいります。今後とも十念寺をよろしく願っています。

海外・国内開教使名簿

令和6年12月末日現在

海外開教区

		氏名	赴任寺院
ハ ワ イ	開教総監	石川 広宣	ハワイ浄土宗別院・コロア浄土院・カバア浄土院
	開 教 使	高野 明宏	ハワイ浄土宗別院
		田邊 孝顕	ハワイ浄土宗別院
		江崎 晃司	ハレイワ浄土院
		宮寄 潤心	ヒロ明照院・カーチスタウン浄土院・ハカラウ浄土院
		ワジラワンサ舜爾	ハマクア浄土院・ハヴィ浄土院・コハラ浄土院
		原 源照	ラハイナ浄土院
		原 潮音	ワイルク浄土院・カフルイ浄土院

南米	開教総監	佐々木 良法	マリンガ日伯寺
	開教使	稲場 明忠	南米浄土宗別院日伯寺
		山田 英規	南米浄土宗別院日伯寺
		櫻井 聡祐	イビウーナ日伯寺
		大江田 晃義	クリチバ日伯寺

オーストラリア開教地

	氏名	指定地域
主事	ウィルソン哲雄	クイーズランド州 ブリスベン一円

フランス開教地

	氏名	指定地域
主事	高僧 光隆	パリ市 一円

国内開教

国内開教地域	寺院名	国内開教使
宮城県仙台市泉区及び富谷市とその周辺	十念寺	伊東 秀眞

Honen World Meeting 850

浄土宗
開宗850年
慶讃



Honen World Meeting 850

日時 2023年10月10日(火)
午前9:30～午後2:30まで

会場 総本山知恩院 和順会館

第1部

開教区・地の紹介

- ・ハワイ開教区
- ・北米開教区
- ・南米開教区
- ・オーストラリア開教地
- ・フランス開教地

第2部

講演

教えを開く(開教)ということ
-Local からGlobal へ-

藤本浄彦台下 大本山金戒光明寺法主

- ・食事会
- ・記念撮影

令和5年(2023)10月10日、浄土宗が開教活動を行っているアメリカ・ブラジル・オーストラリア・フランスからの開教使・信徒約70名と浄土宗開教振興協会関係者ら約50名参加のもと、総本山知恩院の和順会館にて「Honen World Meeting 850」を開催した。前日の10月9日、開教使・信徒は総本山知恩院で営まれた浄土宗開宗850年慶讃法要「総本山、大本山お待ち受け法要」に参詣、御影堂での称名念仏体験を共にし、翌日の大会に臨んだ。当日はまず各国の開教使

や信徒により、開教区・開教地の国情や寺院の現状と取り組みの説明などが行われた。続いて、大本山金戒光明寺・藤本浄彦台下により『教えを開く(開教)ということ』-Local からGlobal へ-と題した講演が行われた。その中で藤本台下は「私たちを取り巻く環境がローカル(地方・国)を対象としたものからグローバル(地球規模)なものへと変化し、社会や人間の生き方や宗教観が変わりつつあるなか、法然上人が示されたお念仏の教えは、国家・民族・年齢・性別など、さまざまな

違いを超えて救いになる」と語られた。交流会では、各国の信徒同士が和やかに交流、当協会や各開教区・開教地による余興に会場は沸き、盛況のうちに幕を閉じた。閉会に際して、新谷仁海企画委員長は「皆さまの日常生活の言語は違えど『南無阿彌陀仏』のお念仏で一つになることができた」と締めくくり、お念仏により世界の様々な地域から集う人々がつながる喜びを分かち合う一日となった。



會員名簿

■原則として功績点付与者を掲載しています。

会員
(所属は納入時)

令和5年4月1日～令和6年3月31日

大本山 増上寺	大本山 光明寺	大本山 誕生寺	特別寺院
八木	柴田	漆間	
季生	哲彦	勇哲	

〔教区／組〕

北海道第一函松

室蘭

北海道第二
東小樽

南 西

青森
弘北
南

專稱院	貞昌寺	慈教寺	方丈寺	定往寺	北泉岳寺	阿弥陀寺	天德寺	龍雲寺	菩提寺	長提寺	大松寺	新善光寺	誓願寺	報恩寺	淨土寺	大厚寺	大然寺	天上寺	仙海寺	仙海寺	滿岡寺	永稱寺	稱念寺	豐名寺	寺院名	誕生寺	光明寺	增上寺
熊谷	赤平	嶋中	石川	周田	皆上	松岡	片山	丸木	若橋	北見	太田	稲垣	渡部	小波	藤井	高上	石上	及川	及川	飯島	佐藤	井上	高橋	昌宏	氏名	漆間	柴田	八木
和行	法導	英哉	大佑	俊久	泰信	瑞翔	淨教	一立	祐之	宗憲	祥隆	眞琴	孝道	英明	德亮	有光	源應	順功	聖光	勝芳	曉樹	步導	佳宏	昌宏	勇哲	哲彦	季生	

岩手

北西

東青

下上
北北

盛岡

花卷

秋田

山形

宮城

福島 群馬

中央	逋通り	第六	第三	第二	第一	鶴岡	山形	置賜	県南	中央	気仙	花巻	盛岡	三八	下北	上北	東青	北西																							
常宣寺	善導寺	誓傳寺	満藏寺	九品寺	往生寺	往生寺	来迎寺	長龍寺	浄土寺	愚鈍院	愚鈍院	西方寺	常念寺	常運寺	稱念寺	常光寺	浄蓮寺	誓願寺	浄土寺	善明寺	専念寺	真城寺	松岩寺	廣隆寺	善導寺	吉祥寺	正覺寺	光臺寺	大泉寺	青龍寺	多善寺	優婆寺	平安寺	浄満寺	正覺寺	海満寺	葉王寺	善導寺	法王寺		
蓮沼	中村	日塔	青柳	遠藤	豊嶋	豊嶋	奥須	那須	中澤	中村	中村	渡邊	東邊	佐藤	佐藤	高橋	鬼熊	菅原	林	中川	吉水	吉水	小川	谷地	黒沢	武田	柴内	岩瀬	鈴木	廣田	久慈	三宮	葛西	工藤	長尾	楠美	成田	藏澤	秋谷	小山内	古川
一紀	隆敏	徳裕	良倫	弘典	亮賢	瑞俊	清康	祐宣	良官	龍樹	瑞貴	絃義	剛昭	智史	一彦	龍彦	良悦	信隆	英道	悟道	義教	大俊	隆英	玄雅	智明	眞和	興信	崇史	光順	篤雄	恭慈	徹雄	憲定	満水	拓應	知剛	憲信	豊彦	昇龍	泰正	

析木

茨城

埼玉

第三	第二	第一	猿島	絹	常総	霞北	水戸	塩那	宇都宮	見北	下都賀	足利	館林	桐生	太田	前橋	吾妻	高崎																								
林西寺	源光寺	安國寺	報捷寺	淨捷寺	淨念寺	相願寺	長伝寺	真福寺	源長寺	常福寺	大信寺	專願寺	本願寺	寶輪寺	藏福寺	廣大寺	廣大寺	善空寺	莊嚴寺	弘経寺	淨真寺	得生寺	照光寺	香仙寺	清嚴寺	善念寺	延壽寺	清嚴寺	吞龍寺	近龍寺	德正寺	法光寺	神光寺	西福寺	長念寺	雲晴院	善福寺	正幸寺	龍光寺			
川端	里見	町田	渡邊	辻	名和	宇高	大和	加藤	小林	渡邊	樋口	赤羽	峯崎	小澤	田中	吉水	山崎	山崎	黒本	古屋	金田	福永	長谷川	吉水	安西	三宮	上田	吉水	荒川	雙樹	樋口	佐々木	松濤	采澤	宮本	萩原	茂木	稲村	茂澤	瀧澤	神宮	天野
清光	純庸	唯真	滿有	文一	義明	昭祐	良哲	忠雄	良明	昭彦	清行	道寛	清芳	清規	勝道	成道	東海	俊仁	隆信	吉雄	冬彦	龍弘	夏生	幸憲	治穂	典良	弘文	明英	良弘	正直	孝佳	良浩	幸江	康靖	惠順	博道	真道	現秀	昌道	正道		

東京

第四

芝

城城
西南

豊島

江東

浅草

城北

善德寺	安樂寺	源空寺	清水寺	法林寺	大雲寺	西光寺	松誓寺	正覺院	仲台寺	瑞眞院	功德林寺	養國寺	法藏院	光專寺	長安寺	善光寺	梅窓院	專念寺	惠受院	長善寺	戒法寺	心光院	妙安社	寶松院	觀智院	常照院	雲晴院	先光寺	蓮光寺	東源寺	西運寺	勝願寺	深廣寺	淨信寺	神宮寺	清光院	聖泉寺	淨福寺	眞福寺
大谷	神子	角岡	岡本	日比野	大谷	西城	古宇田	清水	関野	八木	新谷	野口	岡本	石川	川名	中島	布村	原口	鈴木	長谷川	戸松	福原	小林	松壽	土屋	野村	小篠	石川	齊藤	押見	島田	藤田	岡本	石垣	本間	今井	今井	峯田	熊井
豊彦	恕涉	里司	幸宗	泰皓	宗隆	順一	行慈	信純	虎饒	宣詭	仁海	義之	宣丈	隆信	觀成	真哉	伸哉	哲英	一真	俗潤	義晴	秀美	正道	泰彦	正道	恒道	正樹	寧山	祐寛	義宏	孝道	茂正	実乘	正順	直人	照明	康隆	篤雄	知仁

[illegible][illegible]

石川						岐阜	伊賀																																				
能登	浅野川	犀川	濃飛	高須	赤坂	大垣	岐阜	柘植	河合	上野	松阪	西尾		碧海	碧北	豊田		岡崎	御津											豊川													
西光寺	宝幢寺	玄門寺	三光寺	高福院	地藏寺	圓満寺	安養寺	浄楽寺	常楽寺	林松院	阿弥陀寺	欣浄寺	山上院	林昌寺	永迎寺	念佛寺	樹敬寺	自然院	香蓮寺	縁心寺	清浄寺	願行寺	行福寺	隣松寺	法雲寺	弘誓院	蓮馨寺	善入院	閑通寺	大恩寺	神泉寺	長谷寺	大聖寺	養福寺	光明寺	光輝院	淨泉寺	最勝院	西福寺	延命寺	光明寺	上善寺	城寶寺
高僧	高田	浅井	奥村	大西	大田	石川	戸田	徳田	廣瀬	颯田	関川	浅野	静永	柴田	豊岡	山下	秦	川合	住村	倉橋	伊藤	木村	水谷	安西	秋田	青木	岡田	永谷	中島	松坂	植村	立松	鈴木	神谷	林	神谷	村瀬	黒野	大光明	高木	橋村		
英淳	光彦	大雄	美嗣	玄裕	那智	弘樹	正人	英淳	衣里	隆史	隆導	真義	俊道	鎌尔	法彦	智宏	賢祐	和章	了稔	信道	敏男	大伸	保承	文雄	信善	恵空	博道	教英	幸康	昌融	純哉	康輝	浄哉	志宏	嘉則	裕哉	昌寛	隆見	孝徳	泰彦			

滋賀																				福井
神北																				丹南
蒲生第一																				宗安寺
善法寺																				吉祥院
光明寺																				蓮乘寺
大蓮寺																				平松
嚴淨寺																				深輪田
法恩寺																				三輪田
光明院																				深尾
安樂寺																				郁芳
正福寺																				山川
溪明寺																				佐々木
福蓮寺																				加藤
善福寺																				福田
若王寺																				前田
浄土寺																				中川
称名寺																				北條
浄観寺																				山添
法藏寺																				溪
永仙寺																				蓮見
清光寺																				三田
西香院																				笹尾
多聞寺																				静永
雲住寺																				増田
安養寺																				巖野
乘念寺																				山岡
西福寺																				黒川
願海寺																				増本
廣瀬																				俊幸
正傳院																				山田
正往寺																				本田
正念寺																				本田
清光寺																				井川
大光寺																				南本
信行寺																				田多
西方寺																				田原
大恩寺																				勤息
專稱寺																				朽木
金臺寺																				小田
檀王法林寺																				信々原
善導寺																				小川
定信院																				江藤
龍泉院																				小林
良樹院																				宮口
龍雄																				泰之
英久																				隆宏
雅文																				芳信
智信																				義照
敏行																				孝昭
忠信																				義朗
直樹																				正史
正史																				義宏
卓爾																				英正
聖隨																				泰雄
博樹																				進瑞
宏壽																				英順
一隆																				恒雄
恭寛																				浩章
法隆																				晃秀
昭孝																				善明
理信																				正道
隨浩																				光伸
仁道																				般國
順生第二																				良昭
光明寺																				若杉
善法寺																				秦
吉祥院																				吉内
宗安寺																				大寶寺
丹南																				悅應
福井																				

京極

空也寺	勝圓寺	聖光寺	淨教寺	春長寺	天性寺	正覺寺	光德寺	稱名寺	常光院	生蓮寺	稱名寺	城安寺	大蓮寺	西昌寺	光安寺	淨源院	永運院	本光院	高樹院	三緣寺	阿弥陀寺	長源寺	淨念寺	心光院	西福寺	照臨院	龍泉院	瑞泉院	顯岑院	清賢院	福藏寺	禪法寺	養源院	瑞林院	壽仙院	琢窓院	光福寺	長德寺	常林寺	正定院	上善寺	西園寺	慈福寺	光明寺	圓通寺
石井	青木	神谷	光山	塩竈	當麻	土方	三縁	岡見	鈴木	梅木	服部	芳井	堀山	杉井	安肥	土本	竹本	大津	藤村	勝田	富田	村橋	村橋	大矢	齋藤	井上	白崎	本庄	大塚	渡邊	上野	河合	平中	伊藤	坪倉	板倉	木村	福原	大野	高田	岡田	藤堂	佐々木		
輝明	正道	真毅	公啓	義寛	友彦	了弘	勝道	弘道	大介	昌隆	介隆	智章	教哉	俊実	雅定	真純	光昭	隆範	良樹	典主	隆司	尚隆	邦彦	明香	蒙光	正憲	昌紀	学成	良英	真教	公嗣	孝雄	真人	祐世	敬祥	道彦	隆昌	純香	徹心	貴雄	稔道	政俊	俊英		

大宮

香林寺	広見寺	冷聲院	福元院	西方寺	稱名寺	極樂寺	福田寺	龍岸寺	大泉寺	西照寺	長圓寺	法宣寺	聖德寺	成道院	西方寺	妙嚴院	称念寺	如来寺	正運寺	成円寺	專德寺	善想寺	西念寺	淨心寺	信重院	入信院	良正院	松宿院	青龍寺	西光寺	安祥院	隆彦院	正林寺	喜運寺	洞雲寺	念佛寺	称名寺	淨雲寺	念佛寺	極樂寺	新善光寺	本覚寺	浄国寺	永養寺
梶浦	白旗	林原	石原	吉水	小田切	田村	池田	逢坂	桐原	公月	吉岡	関川	山橋	吉水	恒川	巻山	杉浦	宮田	青木	高津	村山	藤堂	鈴木	細井	岸井	篠原	鳴加	梅辻	吉澤	佐藤	二宮	田中	釋佐	廣兼	釋村	相村	志麻	當井	石井					
丈嗣	圭悟	俊雄	幸雄	幸雄	敏和	眞恒	弘憲	成彦	慈教	隆淨	惠介	稔雄	尚法	成幸	俊光	忠昭	良昭	光昭	正明	宗典	伯積	海尊	孝純	祐生	俊三	宏俊	晶三	行雄	和美	泰雅	素道	浩則	伸行	瑞記	友博	淳孝	良正	尚博	恒彦	久純	章英	俊之		

伏見

一条

勝念寺	光月院	榮運寺	正法寺	常念寺	光照寺	觀音寺	常泰寺	誠心寺	蓮乘寺	常安寺	攝取院	觀音寺	竹林寺	西正寺	松林寺	淨篤院	成等院	祐正寺	勝嚴院	善福院	五劫院	福寿院	淨円寺	松原寺	地藏院	成願寺	隨念寺	護念寺	智恵光院	善福院	瑞雲寺	石像寺	淨光寺	超勝院	永寿院	報恩寺	招善寺	吟松寺	宗蓮寺	西向寺	玄忠院	慶善寺	寶藏院	高山寺
松葉	林畑	井谷雄	澤田	池上	大河内	前澤	井田	登村	松葉	山下	浦田	澤田	月澤	山崎	石橋	五島	立田	前田	岩城	大河内	水谷	水谷	伊藤	藤津	藤原	國枝	澤崎	西美	荒木	志藤	加藤	森野	岩田	大橋	吹屋	土路	正路	林原	榊原	恒川	稲岡	稲岡		
俊明	雅清	良助	寛成	良賢	正康	泰宏	正樹	和典	昌典	健斗	裕誠	芳昭	信昭	真樹	直樹	要津	歆学	尚楓	隆宏	良治	俊之	正示	史郎	惠雄	了孝	利章	弘明	邦光	智芳	廣隆	弘隆	融典	憲宏	憲道	隆信	正匡	真紹	裕規	孝道	裕雄	憲將			

宇治

洛南

阿弥陀寺	因性寺	安養寺	金方寺	西導寺	願行寺	正覺院	惠福寺	唯心寺	西方寺	福王寺	極樂寺	福應寺	西樂寺	大圓寺	宝迎寺	西念寺	光照寺	法泉寺	常念寺	大念寺	光林寺	永福寺	三縁寺	淨貞院	阿弥陀寺	海徳寺	惠光院	戀塚寺	一念寺	誓祐院	願生寺	光傳寺	寶圓寺	龍源寺	西雲寺	淨雲寺	西岸寺	阿弥陀寺	来迎寺	大蓮寺	大信寺	西光寺	三宝寺
宮本	高田	雲居	藤原	盛田	高志	寺川	光成	吉木	佐藤	高田	八幡	佐藤	河合	徳山	小林	白旗	山本	野田	館本	木本	水谷	水谷	松尾	三輪	平川	長谷川	安藤	高木	菱田	山口	山中	山中	木村	羽坂井	小田	森井	岩井	藤原	光成	宮田	吉島	吉水	
篤信	真弓	秀澄	真澄	悠孝	常記	孟寛	崇成	真親	龍親	真弓	光一	文雄	雅彦	浩輝	文雄	博之	廣賢	宏道	弘昭	正人	正亮	浩仁	正仁	祐朋	周豊	和彦	元興	俊弘	貞博	久夫	隆央	隆弘	義弘	淳弘	法寿	慶信	正道	弘憲	輝彦	典彦	昭彦		

南 城										相 桑										八 幡																										
極樂寺	長福寺	宝國寺	觀音寺	地藏院	安養寺	長光寺	念仏寺	弘願寺	三縁寺	阿弥陀寺	極樂寺	極樂寺	極樂寺	光照寺	念仏寺	長泉寺	應源寺	西願寺	長福寺	藥師寺	阿弥陀寺	西念寺	西光寺	西方寺	想念寺	妙蓮寺	極樂寺	光福寺	安養寺	称名寺	觀音寺	華臺寺	淨安寺	專念寺	圓福寺	迎接寺	西光寺	光念寺	來迎寺	正光寺	阿弥陀寺	阿弥陀寺	蓮台寺	福王寺	淨音寺	阿弥陀寺
青木村	西尾	登田	井上	喜早	森	山田	伊東	板倉	徳光	根来	大塚	大橋	川添	家田	西山	三野	小松	梶浦	山口	國子	大八木	唐井	原口	西田	神居	山田	稲田	前田	織田	山路	平岡	平岡	石丸	坂本	林岡	松岡	小川	横間	松永	福田	法澤	寺西				
秀應	静夫	良樹	泰明	昌定	有浩	祥祐	孝祐	史彦	順孝	明人	從善	豊晴	光信	精司	宏壽	妙瑞	光瑠	英善	雄弘	慶順	純正	善弘	浩幸	伸行	祥淳	泰雄	大祐	敏嗣	芳範	信亮	信亮	廣道	竜太	賢司	源道	泰弘	正弘	高志	桂俊	隆定	正毅					

丹後										船桑										亀岡										嵯峨														
極樂寺	本願寺	常立寺	寶巖寺	西光寺	長徳寺	榮照院	聖徳寺	松林寺	浄仙寺	浄土寺	法鷲寺	安樂寺	浄欣寺	願傳寺	教傳寺	大恩寺	晴明寺	常福寺	念佛寺	專念寺	大圓寺	西光寺	極樂寺	浄福寺	小松寺	円覚寺	念佛寺	称念寺	薬師寺	法然寺	徳林寺	正定院	阿弥陀寺	西光寺	往生院	導故院	福泉寺	爲因寺	慰稱寺	導行寺	袋中菴	大龍寺	西福寺	深廣寺
紀氏	紀氏	柴山	小野	羽瀨	森本	山本	小川	小野	牛田	古島	中島	嵐田	田中	加藤	小泉	奥田	真田	横田	渡邊	大澤	小塚	平田	前田	井上	井上	原田	半田	安藤	久松	内藤	森澤	長澤	木村	吉田	杵田	成田	大田	三縁	鈴木	賀幡	拜郷	石津	河合	竹田
正明	正彰	康淳	泰良	貞教	照明	光景	正道	法俊	忠夫	和広	大典	賢祐	辰祐	辰祐	範幸	大信	原行	明教	良士	亮我	昌彦	秀範	清祐	忠裕	善應	博雄	秀幸	峻士	泰一	慈香	信哉	大治	正善	敬俊	信弘	泰雄	稱圓	圓亮	英次	幸祐	信祐	正信		

滿天										東清堀										西清堀										生玉										大江										大阪										和歌山										奈良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
九品寺										大信寺										天乳寺										心眼寺										大應寺										洞泉寺										誓安寺										誓福寺										天性寺										實相寺										念佛寺										源光寺										西光院										大雲寺										大雲寺										光聖寺										法泉寺										圓通寺										光善寺										大善寺										增福寺										銀山寺										幸念寺										西照寺										光明寺										金臺寺										應典院										浄光寺										哀愍寺										大圓寺										安樂寺										極樂寺										見性寺										壽法寺										西蓮院										法善寺										源正寺										法善寺										龍泉寺										稱名寺										奥院										極樂寺										善福寺										念佛寺																													
松田										増山										川久保										橋本										岩崎										萱野										山中										小比										萱野										得田										西田										龜井										杉原										江崎										秋田										横瀬										戸井										安達										西島										末高										柴田										長谷雄										菅原										津留										秋田										片岡										井桁										齊藤										伊藤										飯村										山下										中村										神田										田中										良田										川島										野島										桂										三宅																																																																															
惠三										隆英										善隆										順浩										博嗣										浩基										忠之										章裕										清彦										克實										裕昭										哲也										博司										利治										正悟										融志										光哉										隆雄										俊英										啓瑞										泰史										隆春										隆玄										真尚										唯真										隆元										慈光										弘孝										光彦										義宣										雅勝										雄弘										善之										隆紹										真宏										義樹										順雅										良寛										暢時										眞晃										芳道										秀人										光教										学道										大瀛										徹誠									

泉北				堺				第二河南				第一河南				河北				北摂				東摂																				
光月院	専称寺	宗見寺	浄安寺	常安寺	大心寺	誓源寺	浄念寺	宗成寺	福成寺	菩提寺	専稱寺	来称寺	西向寺	長福寺	明遍寺	釋尊寺	稱念寺	觀音寺	一乘寺	臺鏡寺	浄土院	慧光院	法藏寺	西觀音寺	安樂寺	浄国寺	考圖寺	長樂寺	法住寺	浄福寺	常福寺	興樂寺	清蓮寺	西王寺	理安寺	寿松院	源光寺	提法寺	西福寺	法界寺	妙香院	幡龍寺	冷雲院	奥之坊
田村	丹農	山田	河合	笠井	武田	野口	坂下	松西	赤木	末高	眞野	松本	近藤	小倉	山田	岡田	横井	文庫	西浦	真田	山北	富永	小林	秦	秦	磯部	西田	飯田	渡邊	小林	久保	足立	嶋村	杉山	中川	藤野	小松	服部	豊川	太田	谷田	奥村		
文洋	秀知	達祐	玄芳	紀彦	耕道	健雄	雅裕	時久	春道	昭順	真瞳	良順	泰彦	泰範	雅文	正進	法淳	恭司	義寛	榮達	琢也	光彦	有豊	稔林	博文	隆齊	雅彦	俊昭	海光	一彰	知廣	元明	順功	俊伸	法信	立徳	忠和	寛一	佳久	正敬	探成	皇圓		

浄土宗開教振興協会 令和5年度事業報告

1 支援事業

①海外開教区・開教地への支援

●申請に基づき助成金を交付

- 1 ハワイ開教区 … 鯉のぼりセレブレーション・青少年活動等
- 2 南米開教区 … 佛教文化講座等の教化活動
- 3 オーストラリア開教地 … 七五三法要実施のための千歳飴購入
- 4 海外開教区・地への渡航費補助 (Honen World Meeting 850)

②国内開教地域への支援

●教化資料費助成

次の指定地域に対し指定解除までの期間、申請に基づき教化資料購入のための助成金を交付

- ・宮城県仙台市泉区及び富谷市とその周辺
十念寺 伊東 秀真 師 (国内開教使3期目)

2 推進事業

●Honen World Meeting 850の開催

- ・日 時— 令和5年10月10日(火)
午前9時30分から午後2時30分
- ・会 場— 知恩院 和順会館
- ・内 容— 第1部 各開教区・開教地の発表
第2部 講演
藤本 淨彦 台下 (大本山金戒光明寺御法主)
「教えを開く(開教)」ということ
—Local から Global へ—
- ・参加人数— 約110名

3 出版事業

- ・開教振興協会会報『開教』第41号発行 7,500部
- ・『Pure Land Life』(英語版)第38号発行 2,200部

4 教化資料支援

- ・『浄土宗月訓カレンダー』ポルトガル語版
※データを日本で作成後、南米開教区にて印刷・製本
南米開教区 3,500部
- ・『浄土宗月訓カレンダー2023年版』
ハワイ開教区 405部 北米開教区 320部
オーストラリア開教地 100部 フランス開教地 31部
- ・『浄土宗宝暦2023年版』
ハワイ開教区 25部 北米開教区 50部
オーストラリア開教地 100部 フランス開教地 31部

5 勧募事業

●南米開教区クリチバ日伯寺本堂建立事業

- ・勧募入金状況(2024年3月末) 100,020,825円

6 会費取りまとめ教区

●本年度より会費取りまとめ納入教区にのみ教区報奨金(取りまとめ数×1,000円)を交付予定

- ※取りまとめ教区:19教区(1組含む)
北海道第一、北海道第二、岩手、埼玉、富山、三河、尾張
岐阜、京都、和歌山、大阪、兵庫、石見、岡山、愛媛
福岡、長崎、大分、長野教区更埴組

7 会員数(令和6年3月末日現在)

令和5年度 正会員 912名

指定寄付納入者(所属は納入時)

令和5年4月1日〜令和6年3月31日

東京教区 八王子組

林海庵 紺野舜介

オーストラリア・フランス開教地へ

一〇〇、〇〇〇円

北海道第二教区 東組

明照寺 加藤芳隆

ハワイ開教区へ 一〇、〇〇〇円

浄土宗開教振興協会 役員名簿

役職	氏名	教区	所属寺院
会 長	川中 光教		
理 事 長	杉山 俊明	千葉	浄國寺
副理事長	山北 光彦	大阪	慧光院
理 事	井上 歩導	北海道第一	稱念寺
	武田 眞和	岩手	吉祥寺
	高橋 誠実	東京	無量寺
	山下 法彦	伊勢	樹敬寺
	吉田 悦應	福井	大寶寺
	工藤 純裕	鳥取	誓願寺
	樋口 英信	福岡	長徳寺
	秋谷 昇龍	青森	善導寺
	松野 瑞光	長崎	法源寺
	新谷 仁海	東京	功德林寺
	前田 晃秀	滋賀	若王寺
	永江 憲昭	福岡	一心寺
監 事	土屋 正道	東京	観智院
	中村 在徹	愛媛	浄念寺

令和6年12月末日現在

■個人情報につき、お取り扱いには慎重をお願いします。

令和5年度 浄土宗開教振興協会歳入歳出決算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

基本資金部【歳入の部】

(単位：円)

款 項	目	節	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	予算額との 比較増減	摘要
1.	繰越金		164,010,000	164,010,000	0	令和4年度末の積立金額
	1. 前年度繰越金		164,010,000	164,010,000	0	
	1. 前年度繰越金	1. 前年度繰越金	164,010,000	164,010,000	0	
2.	返済金		0	0	0	
	1. 貸付金返済		0	0	0	
	1. 貸付金返済	1. 国内開教指定寺院貸付金返済金	0	0	0	
		2. 開教区貸付金返済金	0	0	0	
3.	繰入金		0	0	0	
	1. 運用資金部繰入金		0	0	0	
	1. 運用資金部繰入金	1. 運用資金部繰入金	0	0	0	
歳 入 合 計			164,010,000	164,010,000	0	

基本資金部【歳出の部】

(単位：円)

款 項	目	節	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	予算額との 比較増減	摘要
1.	貸付金支出		30,000,000	30,000,000	0	南米クリチバ日伯寺事業
	1. 貸付金支出		30,000,000	30,000,000	0	
	1. 貸付金支出	1. 奨学貸付金	0	0	0	
		2. 開教区貸付金	30,000,000	30,000,000	0	
		3. 国内開教貸付金	0	0	0	
		4. 運用資金部貸付金	0	0	0	
2.	予備費		134,010,000	0	△ 134,010,000	
	1. 予備費		134,010,000	0	△ 134,010,000	
	1. 予備費	1. 予備費	134,010,000	0	△ 134,010,000	
歳 出 合 計			164,010,000	30,000,000	134,010,000	

本年度基本資金部の歳入総額は、¥164,010,000 である

本年度基本資金部の歳出総額は、 ¥30,000,000 である

したがって、¥134,010,000 を翌年度に繰り越す措置を取る

内 訳	基本資金積立金	¥164,010,000
	貸付金	¥30,000,000
	繰越金	¥134,010,000

運用資金部【歳入の部】

(単位：円)

款 項	目	節	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	予算額との 比較増減	摘要
1.	会費		10,050,000	9,140,000	△ 910,000	会員 912 名 R4 年度 2 名
	1. 正会員会費		10,050,000	9,140,000	△ 910,000	
	1. 正会員会費	1. 当年度会費	10,000,000	9,120,000	△ 880,000	
		2. 過年度会費	50,000	20,000	△ 30,000	
2.	寄付金		30,150,000	36,923,000	6,773,000	ハワイ開教区、豪・仏開教地 南米クリチバ日伯寺事業
	1. 寄付金		30,150,000	36,923,000	6,773,000	
	1. 特別寄付金	1. 一般寄付金	50,000	60,000	10,000	
		2. 指定寄付金	100,000	110,000	10,000	
	2. 勸募寄付金	1. 勸募寄付金	30,000,000	36,753,000	6,753,000	
3.	財産運用		1,200	903	△ 297	
	1. 資金運用		1,200	903	△ 297	
	1. 預貯金利子	1. 基本資金利子	1,000	833	△ 167	
		2. 運用資金利子	200	70	△ 130	
4.	雑収入		0	129,000	129,000	HWM 参加費等
	1. 雑収入		0	129,000	129,000	
	1. 諸収入	1. 諸収入	0	129,000	129,000	
5.	交付金		3,000,000	3,000,000	0	浄土宗からの交付金
	1. 交付金		3,000,000	3,000,000	0	
	1. 交付金	1. 交付金	3,000,000	3,000,000	0	
6.	繰越金		18,485,283	18,485,283	0	令和4年度会計より
	1. 繰越金		18,485,283	18,485,283	0	
	1. 繰越金	1. 繰越金	18,485,283	18,485,283	0	
歳 入 合 計			61,686,483	67,678,186	5,991,703	

運用資金部【歳出の部】

(単位：円)

款 項	目	節	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	予算額との 比較増減	摘要
1.	事業費		15,983,000	12,221,864	△ 3,761,136	
	1. 支援及び推進費		13,183,000	10,651,816	△ 2,531,184	
	1. 事業支援費	1. ハワイ開教区事業費	2,573,000	2,073,000	△ 500,000	教宣拡張費等、HWM 補助
		2. 北米開教区事業費	500,000	0	△ 500,000	
		3. 南米開教区事業費	4,070,000	4,070,001	1	教宣拡張費等、HWM 補助
		4. 海外開教地事業費	1,850,000	752,370	△ 1,097,630	教化活動補助、HWM 補助
		5. 国内開教指定地域	100,000	0	△ 100,000	
	2. 事業推進費	1. 広報事業費	1,300,000	1,191,360	△ 108,640	HWM、HP 保守 server 費等
		2. 企画調査費	500,000	789,204	289,204	現地調査（南米会教区）
		3. 勧募事業費	2,290,000	1,775,881	△ 514,119	南米クリチバ本堂建立事業
	2. 出版費		800,000	695,750	△ 104,250	
	1. 会報発行費	1. 開教発行費	800,000	695,750	△ 104,250	『開教』第 41 号
	3. 教化資料費		2,000,000	874,298	△ 1,125,702	
	1. 教化資料費	1. 教化資料費	2,000,000	874,298	△ 1,125,702	『PLL』No.37、カレンダー
2.	寄付金		30,100,000	36,813,000	6,713,000	
	1. 寄付金		30,100,000	36,813,000	6,713,000	
	1. 特別寄付金	1. 指定寄付金	100,000	110,000	10,000	ハワイ開教区、豪・仏開教地
	2. 勧募寄付金	1. 勧募寄付金	30,000,000	36,703,000	6,703,000	南米クリチバ日伯寺事業
3.	会議費		2,390,000	2,302,179	△ 87,821	
	1. 会議費		2,390,000	2,302,179	△ 87,821	
	1. 会議費	1. 理事会	1,400,000	973,788	△ 426,212	2 回開催 旅費その他
		2. 常務理事会	0	0	0	
		3. 監査会	90,000	95,250	5,250	1 回開催 旅費その他
		4. 企画委員会	900,000	1,233,141	333,141	7 回開催 旅費その他
4.	事務費		700,000	423,330	△ 276,670	
	1. 事務費		600,000	299,787	△ 300,213	
	1. 事務費	1. 事務費	600,000	299,787	△ 300,213	郵便発送費／振込手数料／その他
	2. 渉外費		100,000	123,543	23,543	
	1. 渉外費	1. 渉外費	100,000	123,543	23,543	本尊前等
5.	賦課徴収費		800,000	660,000	△ 140,000	
	1. 報償費		800,000	660,000	△ 140,000	
	1. 報償費	1. 教区報奨金	800,000	660,000	△ 140,000	教区へ交付 会員数 × @1,000
6.	繰出金		0	0	0	
	1. 基本資金部繰出金		0	0	0	
	1. 基本資金部繰出金	1. 基本資金部繰出金	0	0	0	
7.	予備費		11,713,483	0	△ 11,713,483	
	1. 予備費		11,713,483	0	△ 11,713,483	
	1. 予備費	1. 予備費	11,713,483	0	△ 11,713,483	
歳 出 合 計			61,686,483	52,420,373	△ 9,266,110	

本年度運用資金部の歳入総額は、¥ 67,678,186 である
 本年度運用資金部の歳出総額は、¥ 52,420,373 である

したがって、次の会計余剰金が生じたので、翌年度に繰り越す措置を取る

本年度の運用資金部余剰金 ¥ 15,257,813

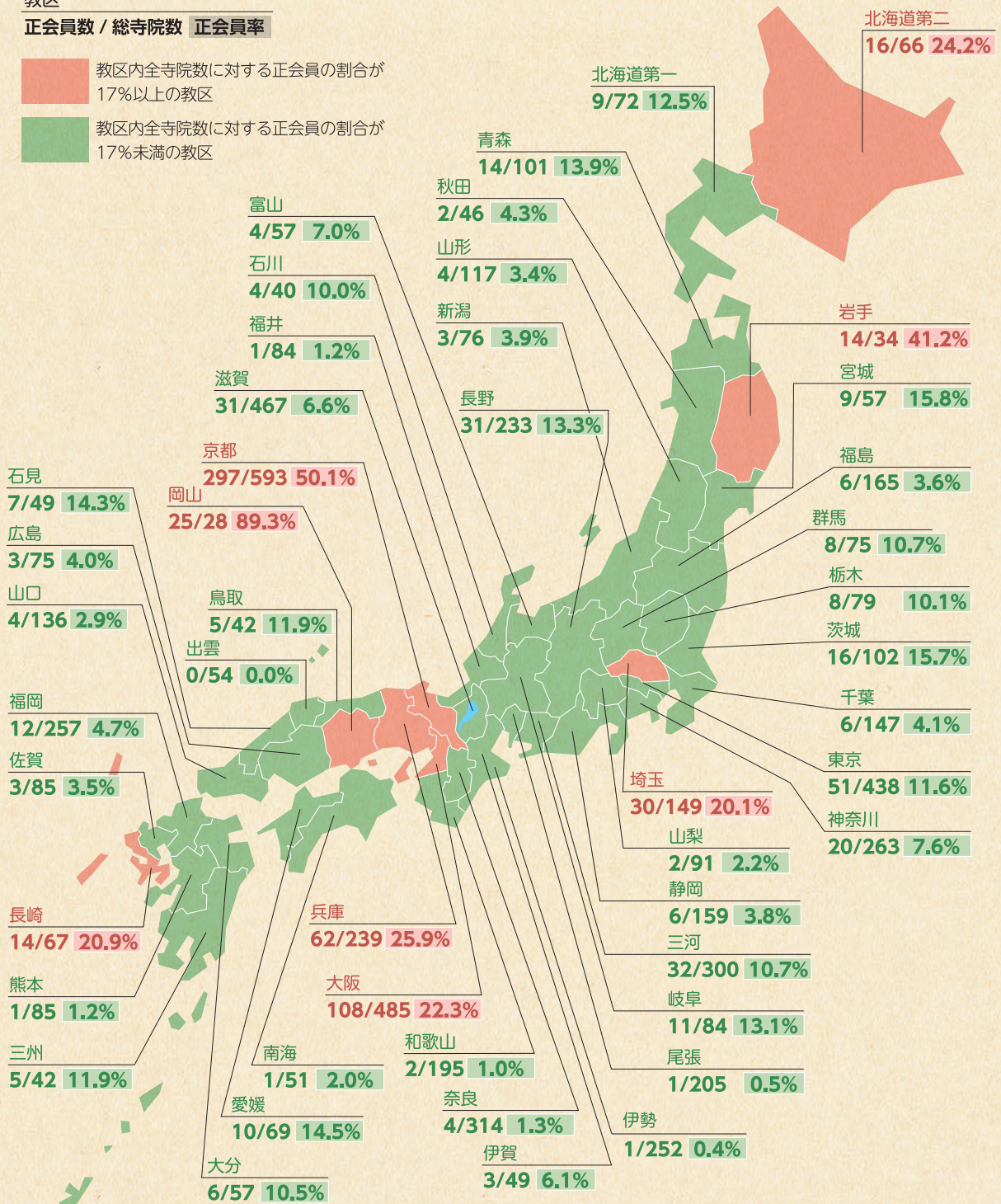
令和5年度 浄土宗開教振興協会教区別会員数

会員数1,200名(全寺院数の約17%)を目標としております。
ご協力をお願いいたします。

教区

正会員数 / 総寺院数 正会員率

- 教区内全寺院数に対する正会員の割合が17%以上の教区
- 教区内全寺院数に対する正会員の割合が17%未満の教区



会員の声

海外開教区と紡がせていただいたご縁

宮城教区第三組 蓮光寺 中村 悟眞

海外開教区とのご縁は、高校生の時にオーストラリアのブリスベンにある阿弥陀寺さまに伺わせていただいたことが始まりでした。その後は、北米開教区やハワイ開教区の記念行事に足を運ばせていただいております。

そのハワイ開教区において、昨年十月、浄土宗開宗八百五十年慶讃法要が厳修されました。私も開教使の先生方やメンバーの皆さまと共に仏縁交流し、お念仏をお称えさせていただきました。堂内に響いた「南無阿弥陀仏」と祝宴で皆で輪になって歌った「ハワイ・アロハ」に象徴されたかの如く、国を超えて、お念仏の御教えが伝わっていることを改めて肌で感じる機会となりました。

また、マウイ島のラハイナ浄土院にも参拝することができました。皆様も



蓮光寺
中村 悟眞 住職



ハワイ・アロハ

合掌

ご存知のようにラハイナ浄土院は大火に見舞われ、伽藍が消失してしまいました。このような時こそ会員一同が心を寄せ続けなければならぬと、強く感じております。一日も早い伽藍復興を心よりお祈り申し上げます。

海外の現地に足を運びますと、毎回感じる場合がございます。開教使の先生方が熱心に布教化されていることは言わずもがなですが、メンバーの皆さまが常に南無阿弥陀仏とお称えしているのです。私自身そのお姿にいつも感銘を受けております。これからもお念仏が世界各地に広まっていきますように、祈念いたします。



編集後記

浄土宗開教振興協会会報「開教」をお読みいただき、誠にありがとうございます。当協会会員の皆さま、関係ご寺院の皆さまにおかれましては、平素より格別なるご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。この度の第42号は発刊時期がずれ令和5年度の当会のご報告が遅れましたこと、お詫び申し上げます。

ご高承のことと存じますが、当協会は令和5年度より改正規程が施行され、会員種別が変更となりました。名譽・賛助会員制度が廃止され、正会員が単年度会員ではなく毎年度会費制となりました。令和6年度は会員拡大を目標として理事長はじめ理事が各地の講習会に出向し、お時間を頂戴し入会勧奨のご挨拶をさせていただいております。この場をお借りして各教区諸大徳のご厚情に感謝申し上げます。今後とも引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今号では各開教区・開教地・国内開教寺院の教化活動並びに記念行事などを報告させていただいております。また、令和4年度から行われている南米開教区クリチバ日伯寺本堂建立に関する勧募並びに建立状況の報告等もございます。ご協力賜りました皆さまには厚く御礼申し上げます。今後、様々な開教活動に対し、その一助となるべく各種の支援を継続して参りたいと存じます。

末筆となりましたが、本号発刊にあたり、ご寄稿を賜りました諸師、ご協力を頂きました全ての皆さまへ深謝致します。

開教 第42号

令和7年5月発行

編集 / 発行 浄土宗開教振興協会

東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会部内
Tel.03-3436-3351 Fax.03-3434-0744

制

表紙・デザイン：株式会社 北陸アイティエス
印刷・製本：株式会社 北陸アイティエス



浄土宗開教振興協会ご入会のお願い

浄土宗開教振興協会は、昭和51年の設立以来、開教活動を支援してまいりました。

海外開教については、既存の開教区に加えて、平成15年に海外開教地として指定されたオーストラリア、フランスの2地区に対しても支援しております。

また、国内開教についても、多くの国内開教使の活動に対して、平成15年より本格的に支援を開始しております。

新たにお念仏をひろめるための礎が徐々に確実に進んでおりますが、国内外ともに、これらの事業を円滑に遂行させるためには、開教振興協会の正会員増加による活動資金の強化安定は絶対条件であります。当協会の支援活動を尚一層充実させるため、一人でも多くの教師諸大徳にご入会をお願い申し上げます。

※協会の会費・寄付は功績点が付与されます。

※ご入会の有無がご不明な方は、担当までお問い合わせください。

本協会は 次の事業を行っております

- ① 宗規第十七号第二条で定める開教区及び開教地指定に関する宗令(宗令第百一号)第二条で定める開教地への支援
- ② 宗規第八十八号第四条及び第五条で定める開教地及び開教使への支援
- ③ 開教使及び国内開教使養成のための支援
- ④ 開教普及のための事業
- ⑤ 事業遂行に必要な調査研究
- ⑥ その他必要な事業

会費の納入および 新会員の入会について

所属教区教務所を経てご納入またはご入会いただくか、下記の口座に直接ご納入くださいますようお願い申し上げます。

寄付金および会費振込口座

郵便振替 00160-5-175767
浄土宗開教振興協会

会員の概要

会 員 本協会の運用資金として年額1万の会費を納入された方

功績点の付与

寄付金および会費については、次のように功績点が付与されます。

会 費 会費(年間1万円)に対して0.2点

寄 付 金

- ① 一般勧募寄付金・・・20万円に対して1点
- ② 個人寄付金・・・5万円に対して1点

【問合先】 浄土宗開教振興協会 〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会部内
TEL:03-3436-3351 FAX:03-3434-0744

【Web】 浄土宗開教ネット URL: <https://kaikyonet.jodo.or.jp/>

